

わが家の防災メモ

▼記入しましょう!

ご家族のみなさんで話し合い、書き込んでおきましょう。

自宅住所

(正式な住所)

(通称)

集合場所

家族、ご近所さんと決めましょう!

避難所

地図ページで確認しましょう!

家族・親戚・知人の連絡先・避難先

氏名	生年月日	血液型	既往症	会社・学校(電話番号など)	避難先

医療機関など

病院名	電話番号

緊急連絡先など

連絡先	電話番号

北海道防災情報

Hokkaido disaster-prevention information
<http://www.bousai-hokkaido.jp/>



大雨警報(浸水害)の危険度分布
 Risk distribution of heavy rain warning (flooding damage)



洪水警報の危険度分布
 Risk distribution of flood warning



災害時に役立つ情報

自衛隊ライフハック(LIFE HACK)

危機管理のプロである自衛隊に伝わるノウハウを災害や事故の時のお役立ち知識へ。
<https://www.mod.go.jp/gsdj/jieikanbosyu/lifehack/>



警視庁災害対策課ベストツイート集

「災害対策課ツイッター」で多くの「いいね」を集めたツイートをまとめてあります。
<https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/smph/kurashi/saigai/yakudachi/index.html>



防災に関するお問い合わせ先

陸別町役場総務課 TEL.0156-27-2141 <https://www.rikubetsu.jp/>



防災ガイドブックの地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得ている。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 361」

令和2年9月

令和2年度

陸別町 防災ガイドブック

安全安心は
 充分な備えと
 支え合いから



緊急時の連絡一覧

- 陸別町役場 ☎0156-27-2141
 災害優先電話(TEL/FAX) ☎0156-27-2797
- 陸別駐在所 ☎0156-27-2151
- 警察 110
- 本別警察署 ☎0156-22-0110
- 火災・救急 119
- 陸別消防署 ☎0156-27-2524
 災害優先電話(TEL/FAX) ☎0156-27-2438

- 災害時は、一斉に電話利用があるため、通信が混雑し電話が繋がりにくくなります。また、電話会社により発信規制がかかる場合もあります。
- 救急や緊急連絡など、大切な通信の確保のため、不要不急の電話利用はやめましょう。
- 緊急通報の際には、字名で番地までお伝えください。

災害時の連絡は

災害用伝言ダイヤル 171

地震などの大きな災害が起きると、家族や知人などに連絡をとるため、多くの方が一斉に電話をかけ、電話が繋がりにくい状況になります。そんな時に役立つサービスがNTTの「災害用伝言ダイヤル」です。

利用方法

- 録音 171+1+自分の家の電話番号(市外局番から)
- 再生 171+2+自分の家の電話番号(市外局番から)

- 一般電話、携帯電話(共に一部を除く)から利用可能
- 公衆電話は、比較的つながりやすい電話のため、事前に設置場所などを確認しておくとういでしょう。
- 携帯電話は、予備の電池パックや自動車用シガーライターからの充電アダプタや電池式充電器を用意しておきましょう。

「陸別町防災ガイドブック」について

このガイドは、土砂災害や大雨洪水などの自然災害にそなえ、町内の自然災害に関する情報を住民のみなさんにわかりやすく提供することを目的として作成しました。

前半では、自然災害にそなえるための情報をまとめています。日頃から確認をし、いざという時に落ち着いた行動をとれるようにしましょう。

後半ではハザードマップを収録しています。想定される浸水の深さや、土砂災害が発生しやすい場所、避難場所などを地図上に示していますので、確認してください。

災害は、いつおこるかわかりません。前もって避難場所、家族の集合場所、連絡の方法などを確認しましょう。

このガイドは、災害から命を守るための情報です。大切に保管してください。

目次

防災情報

- P.1 避難情報の種類
避難所の種類
- P.2 自助・共助・公助
要配慮者(避難行動要支援者)
- P.3 非常持出品&備蓄品チェックリスト
災害への備え ~日常生活で消費しながら備蓄する~

地震

- P.4 地震発生時の行動
家屋・室内の安全対策
- P.5 揺れの強さ
停電時の備え

風水害

- P.6 気象庁の注意報・警報
洪水についての基礎知識
- P.7 風水害時の心得
暴風雪に備えて

土砂災害

- P.8 土砂災害の種類
こんな前ぶれ現象に気をつけましょう
安全に避難するために
- P.9 指定避難場所・指定緊急避難場所一覧
- P.9 土砂災害の警戒種別
土砂災害警戒区域
(通称：イエローゾーン)とは
土砂災害特別警戒区域
(通称：レッドゾーン)とは

ハザードマップ〈風水害・土砂災害〉

- P.10 ハザードマップ索引図
- P.12 市街
- P.14 斗満・苦務・分線
- P.16 小利別・川上
- P.18 上陸別・中陸別・作集
- P.20 薫別・登良利・大誉地

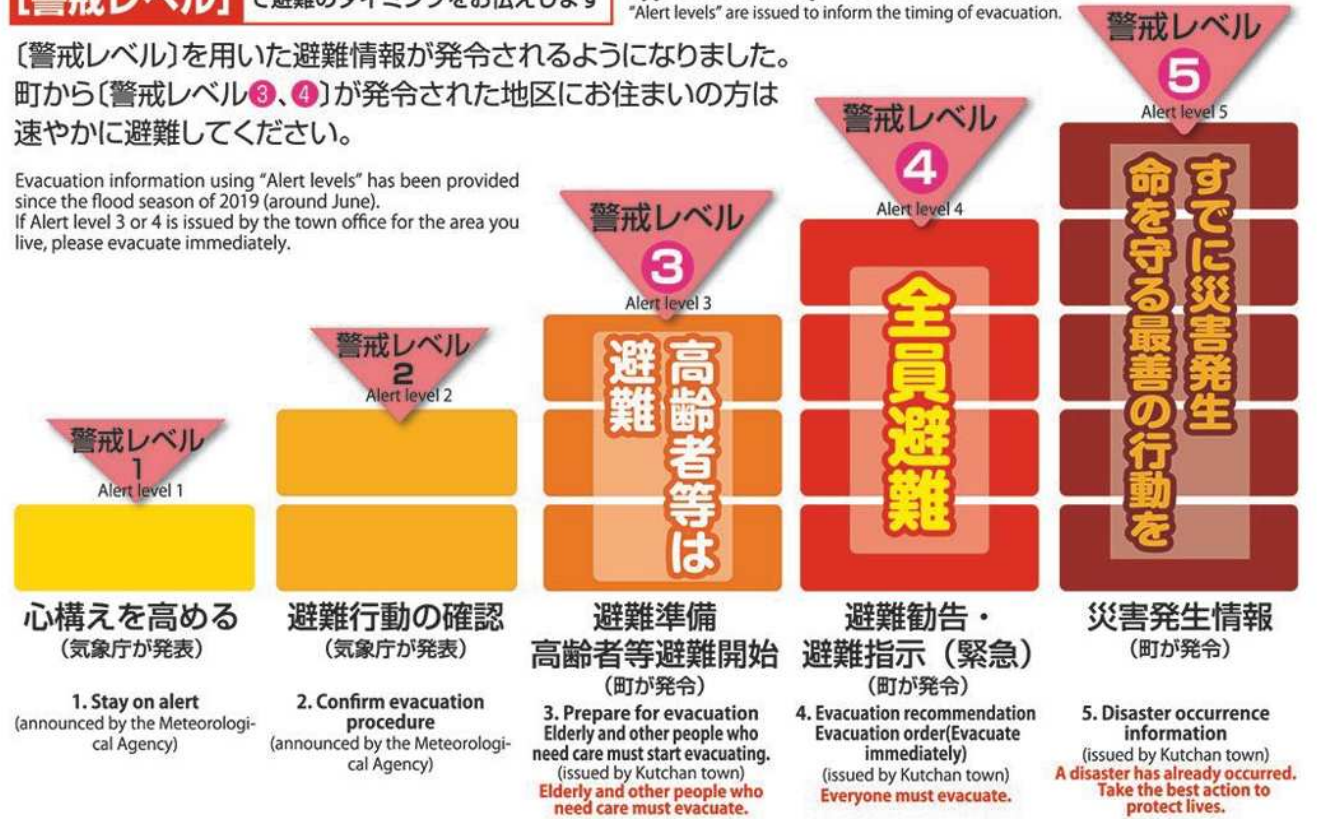
防災情報

避難情報の種類

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします Types of disaster prevention information
"Alert levels" are issued to inform the timing of evacuation.

〔警戒レベル〕を用いた避難情報が発令されるようになりました。町から〔警戒レベル3、4〕が発令された地区にお住まいの方は速やかに避難してください。

Evacuation information using "Alert levels" has been provided since the flood season of 2019 (around June). If Alert level 3 or 4 is issued by the town office for the area you live, please evacuate immediately.



避難所の種類

避難所開設について

災害時に全ての避難所が開設されるとは限りません。

- 地震の場合は建物の安全性を確認して開設を判断します。
- 洪水の場合は避難対象地域に応じて避難所を開設します。

開設する避難所については、テレビ・ラジオ・防災メールや広報車など複数の手段でお知らせします。

指定緊急避難場所 一時避難場所

災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

指定避難所

災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

ペットを連れての避難について

避難の指示があった時には、動物を連れて避難しましょう。

災害時は人も動物も興奮していますから、普段と違った行動を取ることも考えられます。リードは放さないようにしっかり持ち、キャリーバッグやケージはしっかり抱えて動物の安全に気を配りましょう。

避難所では、動物の世話やフードの確保、飼養場の管理は飼い主の責任の下に行うこととなります。衛生的な飼養管理を行うことはもちろん、周りの人に配慮したルールを作り、飼い主同士が協力して助け合いましょう。



自助・共助・公助

自ら守る 地域で守る

◆町民一人ひとりが地域防災の主役です

ふだんの防災活動、災害時の対応どちらも、家庭(自助)、地域(共助)、行政(公助)それぞれの取り組みが不可欠です。

そして、それぞれの連携によって、地域の防災力がさらに高まります。



要配慮者(避難行動要支援者)

「要配慮者」とは、高齢者や障がい者、乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は「避難行動要支援者」として位置付けられています。

避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

介助が必要な方

複数人で対応する。車椅子や担架を使うほか、緊急時はおぶって移動する。

目や耳の不自由な方

音声や手話、メモなど、その人に伝わる方法で情報を伝える。

観光客、外国人の方

土地勘のない人を避難場所などへ誘導する。言葉が通じない場合は身振り手振りなどで伝える。

普段からの交流

災害時にスムーズな支援をするためには、日頃のコミュニケーションが大切。

『非常持出品』&『備蓄品』チェックリスト

非常持出品 災害時にすぐに持ち出せるように、準備しておきましょう。

必需品 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ 	<input type="checkbox"/> 予備電池 	<input type="checkbox"/> 飲料水 <small>(1人1日3リットル目安)</small>	<input type="checkbox"/> 非常食
<input type="checkbox"/> タオル・毛布 	<input type="checkbox"/> 衣類・下着類 	<input type="checkbox"/> 感染症対策用品 	<input type="checkbox"/> 貴重品 	<input type="checkbox"/> お薬・救急セット <small>(お薬手帳も忘れず!)</small>

備蓄品 最低3日分の準備をしておきましょう。(できれば7日分の備蓄を心がけましょう)

燃料 <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料 	非常食品 <input type="checkbox"/> お米(レトルト・アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料 <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・飴 	必要に応じて準備しましょう <input type="checkbox"/> ビニール袋・ティッシュ <input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 洗面用具・生理用品 <input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ・携帯用トイレ <input type="checkbox"/> 粉ミルク・ほ乳びん・紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器(電池式) <input type="checkbox"/> 雨具・軍手 <input type="checkbox"/> ヘルメット・帽子・マスク <input type="checkbox"/> ラップフィルム(お皿に敷くと洗う必要がない) <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 各種アウトドア用品
飲料水 <input type="checkbox"/> ベットボトルや貯水した給水用ポリタンク <small>1人1日3リットル×3日分</small> 	冬の備え <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ(電池式) <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> アルミシート <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ 	

災害への備え ~日常生活で消費しながら備蓄する~

災害に備え、食料等を備蓄する必要性を感じる方は少なくありませんが、数量の管理や消費期限の確認などを考えると、実際に備蓄を継続するのはなかなか難しいものです。

しかし、普段から利用しているカップ麺やレトルト食品等を少し多めに購入し、日常生活で消費しながら備蓄する「ローリングストック法」であれば、いざという時にも日常生活に近い過ごし方ができます。



地震

地震発生時の行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

地震発生

身の安全を確保

緊急地震速報

- 震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。
- テレビ・ラジオ・携帯電話などから入手することができます。
- 発表から揺れが来るまで数秒から数十秒しかないため、速やかに身の安全を確保することが重要です。

- 頭を保護し、机やテーブルの下へ
- あわてず素早く火の始末
- 非常脱出口の確保



1~2分

揺れがおさまるのを待って

- 家族の安全確認
- 非常持ち出し品を用意する
- 火元を確認する
- 靴をはく



3分

余震に注意

- 周辺住民への声かけ



5分

正しい情報を集める

- デマを信じない
- 正確な情報を収集



10~15分

落ち着いて速やかに避難

- 火災防止の為、ブレーカーをおとす。
- 山崩れ、がけ崩れに注意
- 安全な避難経路の確認



半日~3日

避難後は助け合いの心で

- 地域で協力して応急救護の体制を
- 災害情報、被害情報の収集
- 飲料水、食料の確保



家屋・室内の安全対策

被害をおさえるために家屋や屋内の点検をし、安全な環境をつくっておきましょう。

家の耐震化

耐震診断をし、必要があれば耐震化を行う。



壁や塀の点検強化

ひび割れ・破損の有無を点検し、補強する。



家具配置の見直し

倒れても安全なように、向きと配置を確認する。



避難経路の確保

出入口、避難経路に家具を置かない。



※この他、地震で倒れる可能性のある家具や家電製品は壁に固定するなどの措置を行きましょう。

揺れの強さ

揺れの強さは震度で表されます。各震度の強さを知り、地震が起きたときの対処法を想定しましょう。

緊急地震速報(予報)

震度3



大半の人が揺れに気づく

震度4



大半の人が揺れに驚く

緊急地震速報(警報)

震度5弱



大半の人が物につかまりたいと感じる

震度5強



大半の人が行動に支障を感じる

緊急地震速報(特別警報)

震度6弱



立っていることが困難になる

震度6強



這わないと動けない

震度7



動けず、飛ばされることもある

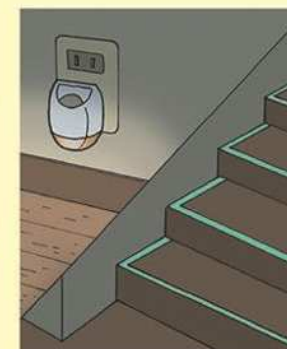
停電時の備え

備え① 安全に避難するためには

夜間の場合、出口がわからない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です。

リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。

懐中電灯と足元灯とを兼ね、停電や地震が起きた時に自動的に点灯するタイプが有効です。足元灯の設置が難しい階段などには、残光テープが効果的です。



備え② 災害情報を確保するためには

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。

ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。

停電時、屋内で救助を待つ場合や屋内での避難生活に備えて

家庭用医療機器等については必要な予備バッテリーを備え、停電時の電源の切り替え手順などを確認しておくことも必要です。



備え③ 特にオール電化住宅では

オール電化で停電が起きた場合、まずはじめに、停電が解消された時の火災や事故を防止するためにコンセントから電気製品の電源プラグを抜き、復旧するのを待ちましょう。

オール電化住宅にお住まいの方は、通常の備えに加え、カセットコンロやポータブル石油ストーブ・カセットガスストーブなど、日頃から災害に備えた準備をしておきましょう。

気象庁の注意報・警報

Advisories/warnings by the Meteorological Agency

大雨や強風などにより災害が起こるおそれのあるときは「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。

The Meteorological Agency issues an "advisory" when there is risk of a disaster due to a heavy rain or strong wind, "warning" when there is risk of a serious disaster and "special warning" when there is extremely high risk of a serious disaster.



注意報(警戒レベル2)

Advisory (Alert level 2)

最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備しましょう。

Pay attention to latest information and make early preparations against a disaster.



警報(警戒レベル3)

Warning (Alert level 3)

町が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。

Pay attention to evacuation information announced by the town office and evacuate immediately when necessary.



特別警報(警戒レベル4)

Special warning (Alert level 4)

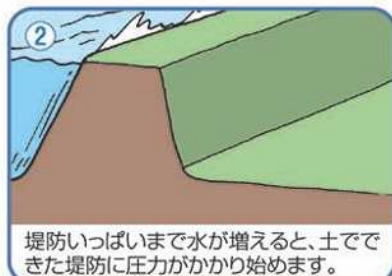
避難情報に従い直ちに避難!外出が危険なときは、家の中でも安全な場所へ!

Evacuate immediately according to evacuation information! If it is dangerous to go out, go to the safest place in your house!



洪水についての基礎知識

●外水はんらん



●内水はんらん



風水害時の心得

近年、全国各地で台風や集中豪雨などによる洪水や土砂災害が発生しています。集中豪雨や暴風雪などによる災害はいつ起こってもおかしくありません。

陸別町でも過去幾度も大雨による被害を受けており、注意が必要です。

被害を減らす心得

- 日頃から気象情報を見て、天候の変化に注意しましょう。
- 屋外と屋内の大雨・強風対策をしましょう。
- 避難勧告などが発令されたときや、危険を感じたときはすぐに避難しましょう。
- 浸水時など状況によっては建物内に待機するほうが安全な場合もあります。状況により判断しましょう。

避難するときの注意

危険を感じたら自己判断で避難することも必要です。浸水や土砂災害が起こる前に、安全に避難するようにしましょう。

- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行く。
- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行く。
- 浸水しているときは、足元などを棒で注意しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はくれないようにする。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



暴風雪に備えて

屋外で 視界不良(ホワイトアウト)により方向感覚を失い、自分がどこにいるのか分からなくなるため

- 商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所に移動して天候の回復を待つ。
- 歩行中は風で飛ばされてくる物に注意する。
- 重ね着や肌の露出を少なくし、体温の低下を防ぐ。

屋内で FF式暖房機などの吸排気口がふさがれて、一酸化炭素中毒にならないために

- 吸排気口がふさがれていないか確認。
- 出入口確保のため吹きだまりの状況を見て除雪する。



車の運転中

① 運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けず

- 道の駅、コンビニなどで天候の回復を待つ。
- 気象情報や道路情報を確認。

② 途中で立ち往生をしてしまったときは、後続車からの追突を避けるために

- ハザードランプを点滅、停止表示板を置く。
- JAFなどのロードサービス、近くの商店や人家などに救助を求める。
- 避難できる場所や救助を求められる人家が近くにない時は警察・消防に連絡して救助を求める。



③ 車内で救助を持つときは、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に十分注意が必要なため

原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をさけるためエンジン切る事が大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。

一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険度が上がります。

エンジンをかける時には

防寒などでやむを得ずエンジンをかける時は排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。

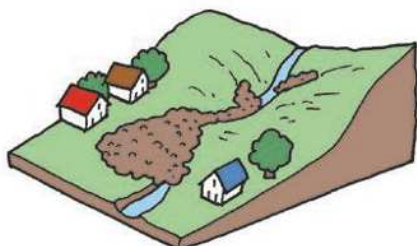
窓を開けていても安全ではありません。風向や窓の開度によっては窓を開けていても閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなる可能性があります。



土砂災害

土砂災害の種類

土石流



山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。

地すべり



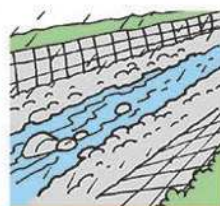
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

こんな前ぶれ現象に気をつけましょう

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難すると共に、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流れが濁り流木が混ざり始める



小石がバラバラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

安全に避難するために



土砂災害の危険がある場所、避難場所や避難経路を日ごろから確認しておきましょう。



土石流では、流れる方向に対して直角方向に逃げましょう。

土砂災害警戒情報について

大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、避難の判断の参考となるよう、北海道と札幌管区気象台が共同で発表する防災情報です。この情報の発表いかんにかかわらず、危険を感じた場合は速やかに自主避難してください。

指定避難場所・指定緊急避難場所一覧

No	場所名 及び 施設名	住所	行政区	電話番号	指定避難所	指定緊急避難場所	一時避難場所	洪水・浸水	崖崩れ・土石流及び地滑り	地震	掲載ページ No
1	タウンホール	宇陸別東1条3丁目1番地	東1条2区	27-2141	◎	◎	×	■	■	■	P13
2	保健センター	宇陸別東2条3丁目2番地1	共栄第2	27-8001	◎ <small>福祉避難所併用</small>	◎	×	■	■	■	P13
3	陸別保育所	宇陸別原野基線333番地1	下陸別	27-2256	◎	×	×	■	■	■	P13-18
4	陸別小学校	宇陸別原野基線331番地1	共栄第2	27-2127	◎	×	グラウンド	■	■	■	P13-18
5	陸別中学校	宇陸別原野基線336番地	下陸別	27-2062	◎	×	グラウンド	■	■	■	P13-18
6	陸別町公民館	宇陸別東2条4丁目2	共栄第2	27-2123※1	◎	×	×	■	■	■	P13
7	若葉生きがい交流館	宇陸別原野基線325番地7	若葉町	27-2211	◎	×	×	■	■	■	P13
8	ふるさと交流センター	宇陸別原野基線69番地1	鉄道	27-3993	◎	×	×	■	■	■	P12
9	陸別町デイサービスセンター	宇陸別原野基線321番地5	共栄第1	27-3881	福祉避難所	×	×	■	■	■	P13
10	みどりの園みどりむ	宇陸別原野分線8番地232	緑町	27-2911	福祉避難所	×	×	■	■	■	P12
11	駅前多目的広場	宇陸別原野基線69番地1	大通	27-2141※2	×	×	◎	■	■	■	P12
12	緑町スポーツ広場	宇陸別原野分線8番地136	緑町	27-2123※1	×	×	◎	■	■	■	P12
13	町民スケートリンク	宇陸別東1線328番地	若葉町	27-2123※1	×	×	◎	■	■	■	P13
14	町民運動場	宇陸別原野基線335番地1	下陸別	27-2123※1	×	×	◎	■	■	■	P13-18
15	栄町児童遊園地	宇陸別78番地1	栄町	27-2141※2	×	×	◎	■	×	■	P12
16	農畜産物加工研修センター	宇陸別西一線311番地13	新町2区	27-2192	×	×	◎	■	■	■	P12
17	小利別集会所	宇利別川上原野基線94番地	小利別	27-3764	◎	×	×	■	■	■	P17
18	上斗満交流センター	宇トママ南3線92番地1	上斗満	27-2940	◎	×	×	■	■	■	P14
19	とまむ園ふらっと	宇トママ南3線94番地3	上斗満	27-2933	福祉避難所	×	×	■	■	■	P14
20	苫務交流センター	宇トママ原野基線86番地2	苫務	27-2941	◎	×	×	■	■	■	P14
21	中斗満交流センター	宇トママ幹線48番地3	中斗満第1	27-2943	◎	×	×	■	■	■	P15
22	トラリ農作業準備休憩室(トラリ交流センター)	上利別原野東1線212番地4	上トラリ	28-2369	◎	×	×	■	■	■	P20

※1 陸別町教育委員会の電話番号 ※2 陸別町役場の電話番号

〈参考〉 ■ 洪水・浸水 ■ 崖崩れ、土石流及び地滑り ■ 地震

土砂災害の警戒種別

○土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことです。

該当する凡例と地図上のレッドゾーンの実例

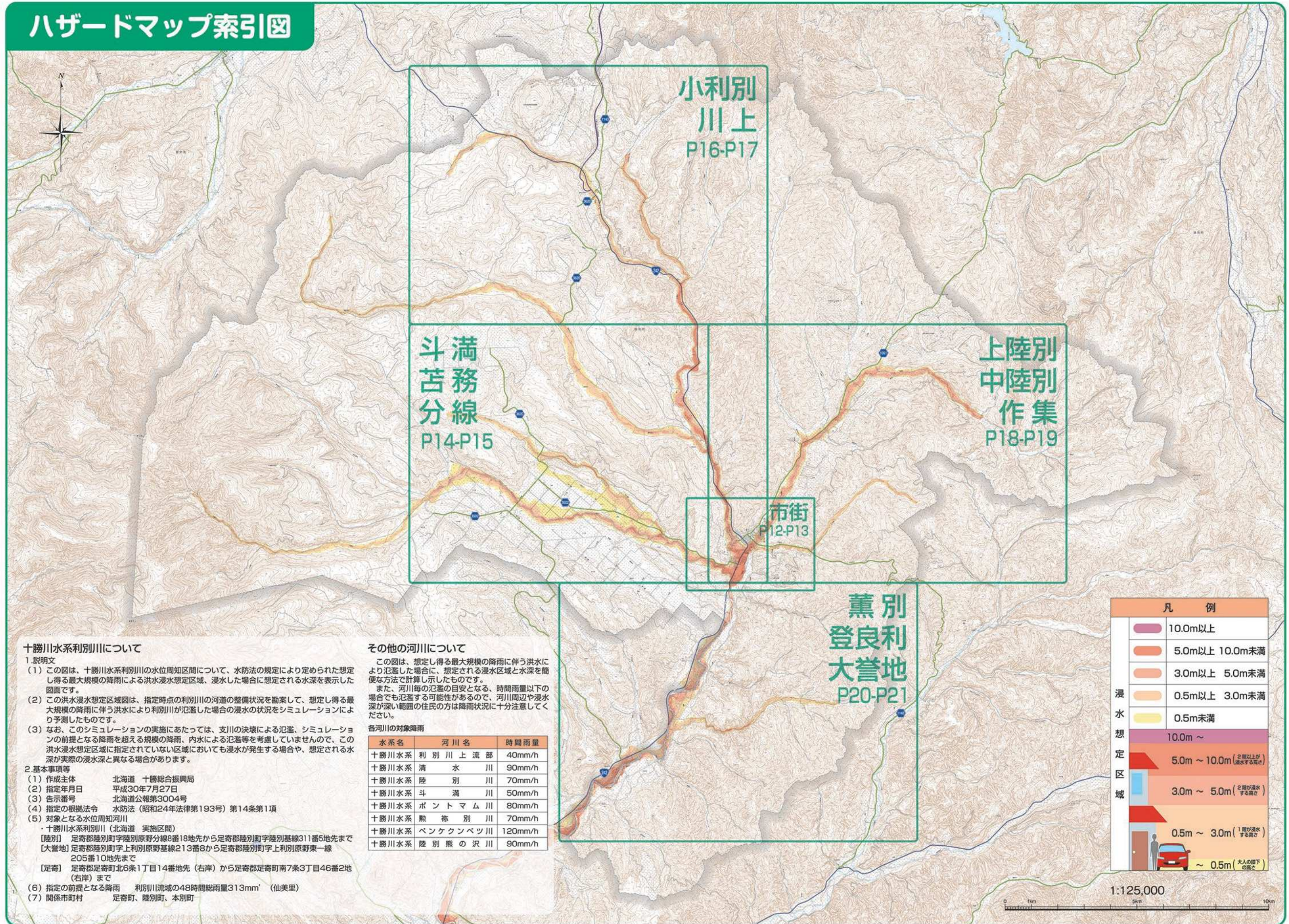
警戒区域(種別)	■	土 石 流
	■	が け 崩 れ
	■	地 す べ り



○土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に建築物に破損が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が発生するおそれがあると認められる土地の区域で一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域のことです。

ハザードマップ索引図



十勝川水系利別川について

1. 説明文
- (1) この図は、十勝川水系利別川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の利別川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により利別川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 北海道 十勝総合振興局
 - (2) 指定年月日 平成30年7月27日
 - (3) 告示番号 北海道公報第3004号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知河川
 - ・十勝川水系利別川（北海道 実施区間）
 - 【陸別】 足寄郡陸別町字陸別原野分線8番18地先から足寄郡陸別町字陸別基線311番5地先まで
 - 【大誉地】 足寄郡陸別町字上利別原野基線213番8から足寄郡陸別町字上利別原野東一線205番10地先まで
 - 【足寄】 足寄郡足寄町北6条1丁目14番地先（右岸）から足寄郡足寄町南7条3丁目46番2地先（右岸）まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 利別川流域の48時間総雨量313mm（仙美里）
 - (7) 関係市町村 足寄町、陸別町、本別町

その他の河川について

この図は、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により氾濫した場合に、想定される浸水区域と水深を簡便な方法で計算し示したものです。
また、河川毎の氾濫の目安となる、時間雨量以下の場合でも氾濫する可能性があるため、河川周辺や浸水深が深い範囲の住民の方は降雨状況に十分注意してください。

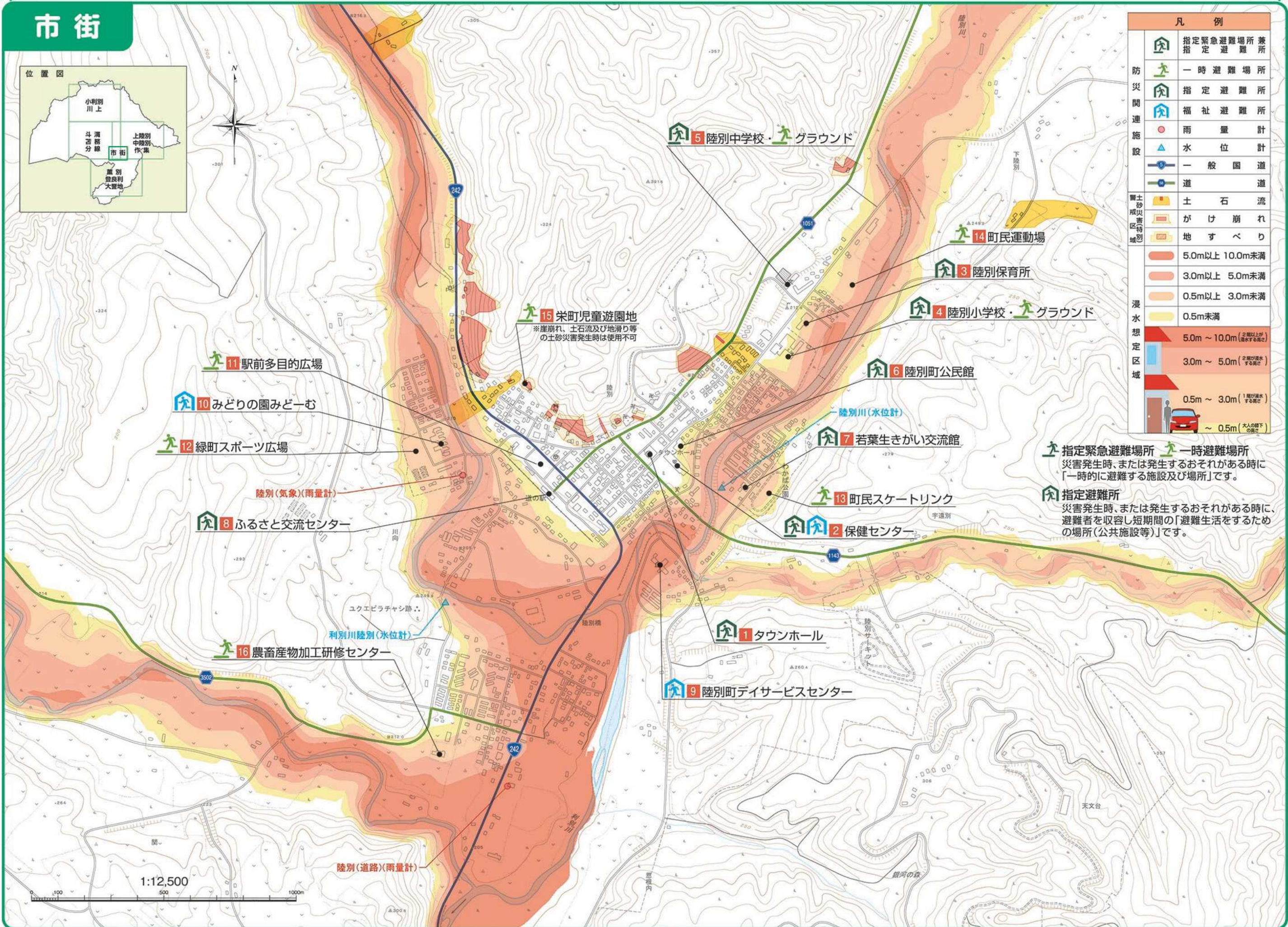
各河川の対象降雨

水系名	河川名	時間雨量
十勝川水系	利別川上流部	40mm/h
十勝川水系	清水川	90mm/h
十勝川水系	陸別川	70mm/h
十勝川水系	斗満川	50mm/h
十勝川水系	ポントマム川	80mm/h
十勝川水系	熱祿別川	70mm/h
十勝川水系	ベンケンベツ川	120mm/h
十勝川水系	陸別熊の沢川	90mm/h

凡 例	
	10.0m以上
	5.0m以上 10.0m未満
	3.0m以上 5.0m未満
	0.5m以上 3.0m未満
	0.5m未満
	10.0m ~
	5.0m ~ 10.0m (2層以上が浸水する高さ)
	3.0m ~ 5.0m (2層が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3.0m (1層が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)

1:125,000
0 1km 5km 10km

市街



1:12,500

斗満・苫務・分線

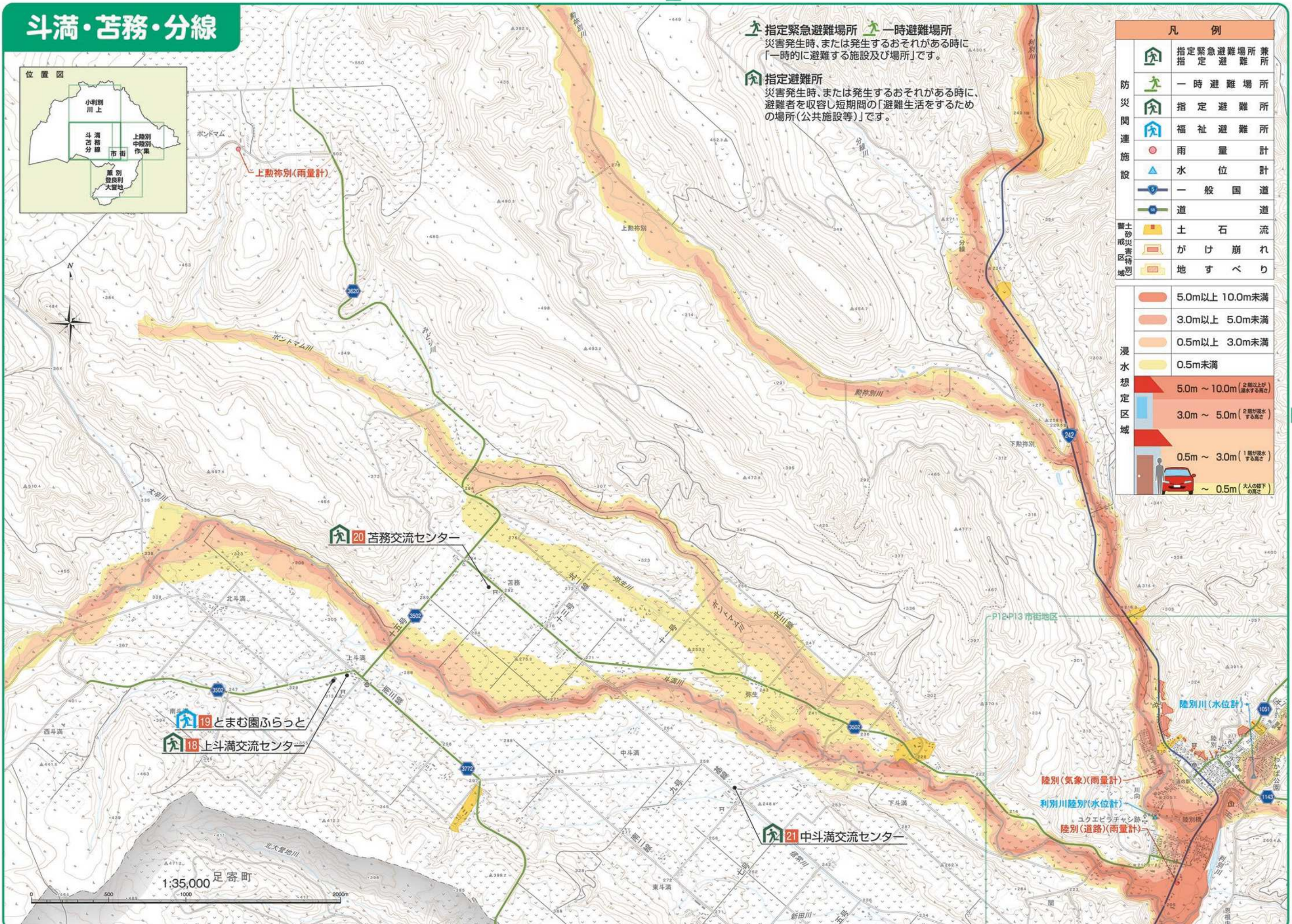


指定緊急避難場所 一時避難場所
災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

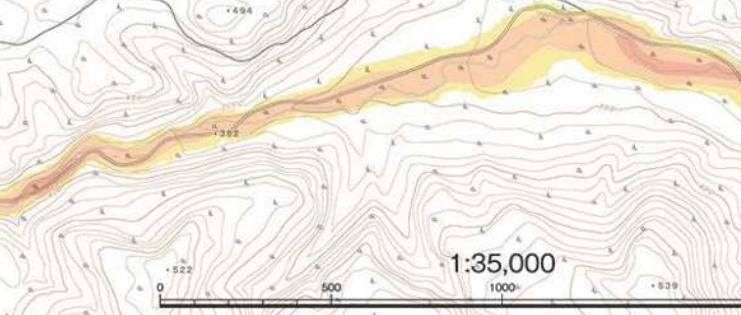
指定避難所
災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

凡 例	
	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	一時避難場所
	指定避難所
	福祉避難所
	雨量計
	水位計
	一般国道
	道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり

浸水想定区域	
	5.0m以上 10.0m未満
	3.0m以上 5.0m未満
	0.5m以上 3.0m未満
	0.5m未満
	5.0m ~ 10.0m (2階以上が浸水する高さ)
	3.0m ~ 5.0m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3.0m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)



小利別・川上



凡例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	一時避難場所
	指定避難所
	福祉避難所
	雨量計
	高速道路
	一般国道
	道
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
	5.0m以上 10.0m未満
	3.0m以上 5.0m未満
	0.5m以上 3.0m未満
	0.5m未満
	5.0m ~ 10.0m (2層以上が浸水する高さ)
	3.0m ~ 5.0m (2層が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3.0m (1層が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)

指定緊急避難場所 一時避難場所
災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

指定避難所
災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

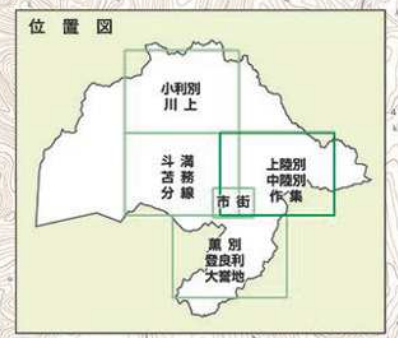
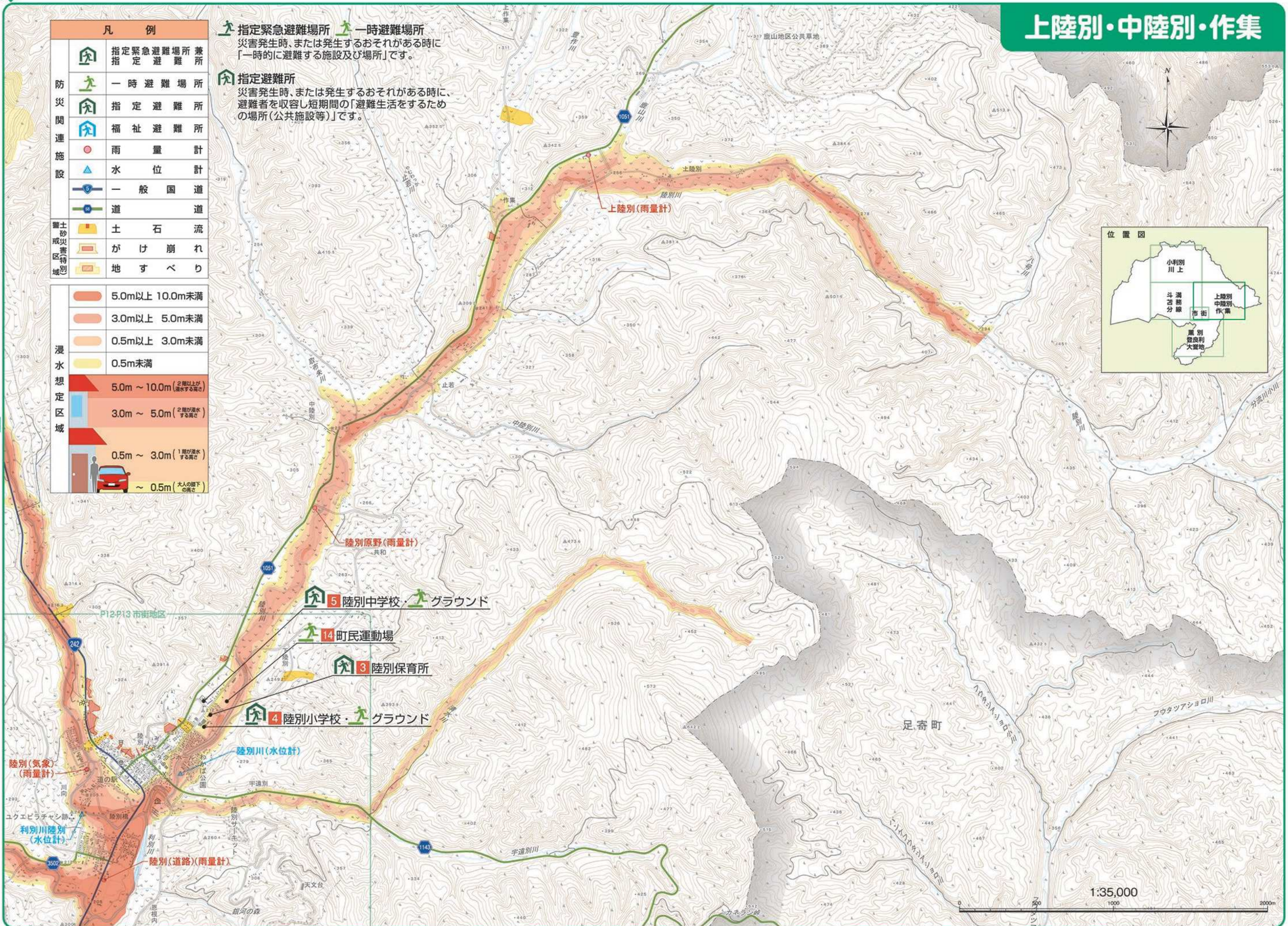
凡 例	
防 災 関 連 施 設	指定緊急避難場所兼指定避難所
	一時避難場所
	指定避難所
	福祉避難所
	雨量計
土 石 流 警 戒 区 (特 別)	土石流警戒区(特別)
	地すべり
浸 水 想 定 区 域	5.0m以上 10.0m未満
	3.0m以上 5.0m未満
	0.5m以上 3.0m未満
	0.5m未満
	5.0m ~ 10.0m (2階以上が浸水する高さ)
	3.0m ~ 5.0m (2階が浸水する高さ)
	0.5m ~ 3.0m (1階が浸水する高さ)
	~ 0.5m (大人の膝下の高さ)

指定緊急避難場所
災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

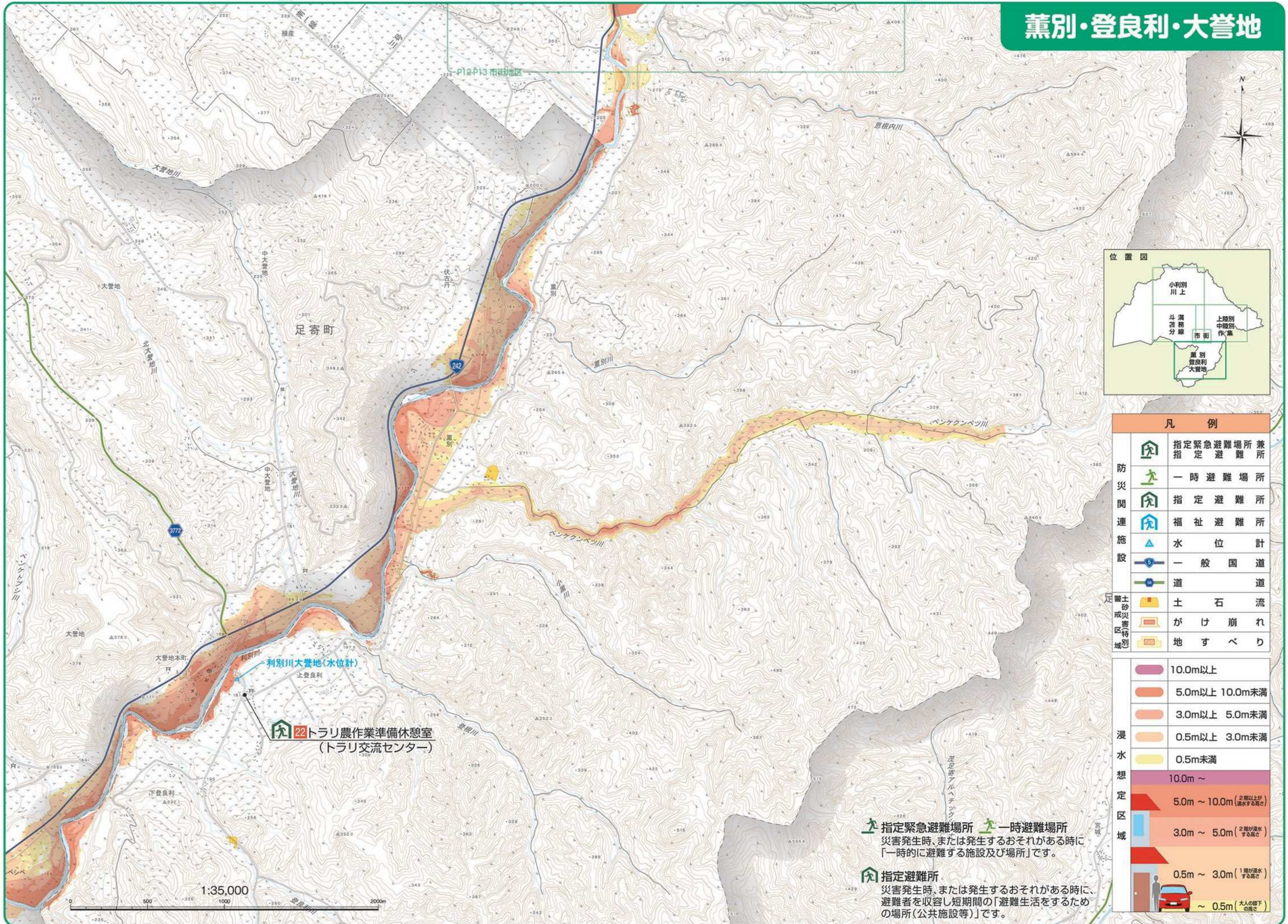
一時避難場所
災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

指定避難所
災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

P14 斗満・苫務・分線



薫別・登良利・大誉地



凡例	
指定緊急避難場所兼指定避難場所	(House icon with red roof)
一時避難場所	(House icon with green roof)
指定避難場所	(House icon with blue roof)
福祉避難所	(House icon with red roof and wheelchair)
水位計	(Blue triangle)
一般国道	(Blue line with '242')
道	(Green line with '3772')
土石流	(Yellow triangle)
がけ崩れ	(Orange triangle)
地すべり	(Red triangle)

浸水想定区域	
10.0m以上	(Dark red)
5.0m以上 10.0m未満	(Red)
3.0m以上 5.0m未満	(Orange)
0.5m以上 3.0m未満	(Light orange)
0.5m未満	(Yellow)
10.0m ~	(Dark red)
5.0m ~ 10.0m (2階以上が浸水する高さ)	(Red)
3.0m ~ 5.0m (2階が浸水する高さ)	(Orange)
0.5m ~ 3.0m (1階が浸水する高さ)	(Light orange)
~ 0.5m (大人の膝下の高さ)	(Yellow)

指定緊急避難場所 一時避難場所
 災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

指定避難所
 災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

22 トラリ農作業準備休憩室 (トラリ交流センター)